

令和6年度

事業計画書

公益財団法人 帆船日本丸記念財団

目 次

| | | |
|----|---------------------|----|
| 1 | 事業運営の方針 | 2 |
| 2 | 帆船日本丸事業 | 3 |
| 3 | 横浜みなと博物館事業 | 5 |
| 4 | みなとの賑わい創出事業 | 8 |
| 5 | 緑地管理及び研修施設事業 | 10 |
| 6 | 集客増に向けた主な重点取組 | 12 |
| 7 | 組織運営の質的向上への取組 | 14 |
| 8 | 令和6年度（2024年度）事業一覧表 | 15 |
| 9 | 管理執行体制 | 21 |
| 10 | 指定管理業務計画 | 23 |
| 11 | 指定管理業務に係る当該年度の収支計画表 | 26 |
| 12 | 年間の指定管理業務の範囲外の収支計画表 | 27 |

令和6年度 事業計画

令和6年度（2024年度）は、日本丸メモリアルパークの第4期指定管理を受託した3年目です。当財団においては設立40周年を迎える年となります。

これまでに築き上げた実績を踏まえて引き続き安定した運営を進めると同時に、新たな魅力の創設に努めながら、みなとみらい21地区を訪れる内外からのお客様をお迎えする先導役としての役割を果たしていきます。

国指定重要文化財である帆船日本丸は、令和12年（2030年）に船齢100歳を迎えます。多くの子どもたちが参加する海洋教室や大人も楽しめる体験型教育プログラムなどを積極的に展開するとともに、展帆ボランティアに支えられている総帆展帆をより安全かつ着実に実施します。そのためにも、船を維持していくための修繕等を横浜市と協力して計画的に進めていきます。

横浜みなと博物館は、リニューアルから2年が経過し開館35周年を迎えます。多くのお客様に展示や施設を御覧いただけるよう、企画展の開催、学芸員による展示解説、クイズラリーなどを実施するほか、ボランティアの協力による展示案内や教育普及事業など、海・港・船に親しむ多彩な機会を提供していきます。

日本丸メモリアルパークでは、賑わいや憩いの場の創出を目指して様々なイベントの誘致に取り組みます。訓練センター・プレゼンテーションルームの貸し出しや映画・ドラマ等のロケーション撮影など、施設や緑地の利用を様々な手段でPRすることにより収入の確保に努め、財団を安定運営します。



1 事業運営の方針

(1) 年次計画の目標

日本丸メモリアルパークの来場者数 50 万人、帆船日本丸及び横浜みなと博物館有料入館者数 8.5 万人、総帆展帆実施回数 12 回、教育普及各種講座の実施回数 200 回以上とします。お客様満足度は、97%以上を目指します。

(2) 利用者の拡大と一層のサービスの向上

多くの方に訪れていただけるよう、Webサイトでの的確なご案内のほか、SNSを利用したタイムリーな情報を発信します。

施設運営においては、大切なパートナーであるボランティアの協力を得ながら、お客様のニーズを把握した取組を展開します。外国からのお客様も含めて全ての方にご満足いただけるよう、全職員がおもてなしの心で対応します。

(3) 安全・安心して利用できる施設管理

日本丸メモリアルパークを訪れる全てのお客様が安心して過ごせるよう、パークを常時巡回します。

地震、津波、風水害等の災害発生時には、迅速な避難誘導によりお客様の安全を確保します。展示品や所蔵品については、資料避難のルールに基づき貴重な資料の保全に努めます。

消防計画や地震対策マニュアルなどについて定期的に見直しを行い、消防署の指導による訓練を毎年実施します。

(4) 柔軟な利用料金体系の設定

単館券のほか、帆船日本丸と横浜みなと博物館の両施設を割引料金で1日楽しんでいただける共通券を販売します。

小学生から高校生までは同じ料金帯の設定とし、毎週土曜日は共通券・単館券とも一律100円の特別料金とします。

65歳以上の方にはシニア割引を設定します。

そのほか、団体割引料金、旅行会社・各種企業サイトでのWeb前売りチケット料金など、多様なニーズに応える料金を設定します。

2 帆船日本丸事業

帆船日本丸がこれまでどおり総帆展帆などの事業を安全に実施し続けるためには、経年劣化が著しい要修繕・整備箇所を早期に改善することが重要です。

大型帆船に船員として乗船経験のある職員が、日々の船体整備に努めるとともに、引き続き帆船日本丸保存活用計画に基づき工事を実施していきます。

一方、帆船日本丸は、海洋教室等を通じて海や船に関する知識を学ぶための教育施設でもあります。子どもから大人まで楽しめる体験型教育プログラムをさらに充実させ、海事思想の普及のみならず帆船日本丸の保存整備についても、より理解を深めていただけるよう努めます。

加えて、帆船日本丸をより多くの方に御覧いただくため、船内展示を定期的に更新し、乗船者増に努めます。

なお、令和6年度（2024年度）は展帆ボランティアの安全と健康を第一に考え、猛暑期である7月及び8月期の総帆展帆を取りやめます。さらに、例年「海の日」に行っていた登橋礼（とうしょうれい）を、6月2日（日）「横浜開港記念日」の実施に振り替えます。

(1) 保存事業

国指定重要文化財として評価された、現在希少な存在となっているリベット構造と残存する建造時の鋼材や木質及び戦後復旧された帆装艀装等を末永く保存するため、次の整備を行います。

ア 日常保守点検

公開区域のみならず、非公開区域を含む船内の安全点検、清掃、漏水箇所等の整備を強化します。「帆船日本丸保存活用計画」に基づいて、船体鋼材の発錆部整備、木甲板や船体木部の整備及びマスト、ヤード塗装、その他の帆装艀装の点検・整備並びにセイルの新規作製を進めていきます。

イ 年次船体整備等

帆装艀装の中から、特に前から3番目及び4番目のマストに対し、集中的な整備を実施する予定です。また、非公開部分を含む船体構造部材、帆装艀装及び船体木部に関する要修繕箇所を抽出し、修繕工事を行います。さらに、「長期船体整備計画」に基づき5年毎に予定しているマスト及びヤード総塗装を実施します。



職員によるマスト総塗装

ウ 災害防止

「帆船日本丸災害防止計画」に基づき、火災や地震等の災害対策及び不法侵入者の防止に備えた24時間体制の監視を船内防災センターにおいて行います。

(2) 公開事業

船内を年間 250 日以上一般公開します。公開にあたっては、新たな内容で実施するミニ海洋教室や外部とのコラボレーションによる体験型講座「飾り毛布をつくってみよう（仮題）」等を実施し、帆船日本丸のさらなる魅力アップに努め、リピーター及び新規乗船者の増加を図ります。

展帆ボランティアに御協力いただき、総帆展帆を年 12 回実施します。さらに、登艦礼（とうしょうれい）を「横浜開港記念日」の実施に振り替えます。また、帆船日本丸への乗船経験や、海上勤務経験があるガイドボランティアと連携し、無料の船内ガイドサービスを実施することにより乗船者の満足度向上に努めます。

これらをはじめ、祝日の満船飾や、毎夜ライトアップとイルミネーションの点灯を実施することにより、みなとみらい21地区を訪れる方々に、帆船日本丸の美しい姿を御覧頂き、街の賑わい創出に努めます。



日本丸船内の飾り毛布の一例:「くじゃく」

※飾り毛布:花毛布(はなもうふ)とも言い、船室に備え付けの毛布を花や季節の風物などの形に折って造形したもの

(3) 青少年錬成事業等

帆船日本丸と附属施設を利用した青少年錬成のための「海洋教室」及び体験型「子ども向け船の講座」、「ロープ作成ミニ海洋教室」などを実施するほか出張海洋教室を開催し、海事思想の普及に努めます。

また、昭和 60 年(1985 年)以来続けてきた「よこはまこどもマリンスクール」の事業を引き続き支援します。



出張海洋教室



よこはまこどもマリンスクール



子ども向け船の講座「船はどうして進むのだろう」

3 横浜みなと博物館事業

開館 35 周年を迎えた横浜みなと博物館では、これまでの活動の成果を生かし、ボランティアと力を合わせ、多くの入館者に楽しく博物館を利用していただけるよう努めます。

柳原良平アートミュージアムでは、特集展示で柳原の多彩な作品の数々を紹介し
ます。

企画展は、横浜ベイブリッジと鶴見つばさ橋を取り上げ、それらの役割や計画・建設から現在までの歴史を紹介し
ます。さらに、関連事業として橋の見学会を実施
し
ます。

博物館資料の保存については、昨今多発している水害等自然災害への対応を継続
し
ます。また、当館で保管している柳原良平作品の整理作業を進めます。令和 4 年
(2022 年) に行ったクラウドファンディングのご寄附を活用し、引き続き帆船日本丸無線日誌の修復等を実施し
ま
す。

(1) 常設展示事業

展示案内ボランティアの活動をより一層充実し
ま
す(ボランティアによる団体客向けのワンポイント解説、展示案内ツアー)。

子どもも大人も参加できる博物館クイズラリーを継続し、展示内容についての理解を深めていただき、博物館入館者の満足度向上とリピーターの確保に努めます。



展示案内ボランティアによるご案内

日本初の常設型 VR シアターや、ガントリークレーンシミュレーター、操船シミュレーターなどの体感型展示機器については、常に良好な状態で利用できるよう努めます。



VRシアター「みなとカプセル」

柳原良平アートミュージアム特集展示では、上半期は「良平の横浜みなと・街歩き」(仮称)を開催し
ま
す。

柳原は 40 年以上横浜に暮らす中で、横浜をテーマとしたエッセイ集を複数出版し、自らが好んだ横浜の街並み、ひいきの店などについて紹介しています。今回はそこで使われた原画を中心に展示し、柳原の足跡が追体験できるような展示とします。併せて、柳原が愛した横浜の街をめぐるガイドツアーを外部の団体と協働し実施し
ま
す。

下半期は、「1984-85 祝 40th 帆船日本丸記念財団設立×帆船日本丸公開 柳原良平の日本丸がいっぱい！展」(仮称)を開催し
ま
す。



特集展示「良平の横浜みなと・街歩き」(仮称)
「水彩 港ヨコハマ行きつけの店」
平成 7 年(1995 年)



特集展示「柳原良平の日本丸がいっぱい!展」(仮称)
水彩画「緑園都市号」(仮題)
平成 20 年(2008 年)

財団設立及び帆船日本丸公開 40 周年の節目に、帆船日本丸の活動に積極的に関わってきた柳原が描いたバラエティに富んだ帆船日本丸の作品を展示します。併せて、地域団体と協働し、イベントや広報宣伝などを行います。

| 柳原良平アートミュージアム特集展示名 | 会 期 |
|---|---------------------------------------|
| 良平の横浜みなと・街歩き (仮称) | 3 月 26 日～10 月 14 日 |
| 1984-85 祝 40th 帆船日本丸記念財団設立×帆船日本丸公開 柳原良平の日本丸がいっぱい!展 (仮称) | 10 月 16 日～ 令和 7 年 (2025 年) 5 月 6 日 |

(2) 特別展示事業

令和 6 年 (2024 年)、横浜ベイブリッジは開通 35 周年、鶴見つばさ橋は開通 30 周年を迎えます。これを記念し、建設から今までの歴史を写真や映像、模型などを通じて紹介する企画展「横浜ベイブリッジと鶴見つばさ橋 港を支える長大橋」を開催します。

本企画展では 2 つの橋が横浜港の物流を支える大動脈として建設され、利用されていることを紹介し、港に関心を持ってもらうきっかけとします。また、貸切バスによる「横浜ベイブリッジ・鶴見つばさ橋見学会」を開催します。さらに、市民の皆様から 2 つの橋に関わる思い出の写真を募集し、ご応募いただいた写真を会場にてスライドショー形式で上映します。

開催にあたっては、橋を管理する首都高速道路株式会社と広報面で連携し、入館者増に努めます。



建設工事中の横浜ベイブリッジ
昭和63年(1988年)



リーフレット 鶴見航路横断橋梁ネーミング大募集
平成6年(1994年)

| 企画展名 | 会期 |
|-----------------------------------|--------------|
| 企画展 「横浜ベイブリッジと鶴見つばさ橋 港を支える長大橋」 | 9月14日～11月10日 |

(3) 教育普及事業

教育活動ボランティアの協力により、外国人観光客にも好評の船の折り紙教室やペーパークラフト教室などのワークショップを継続します。また、コロナ禍で中止していた「親子の海図教室」を再開します。

企画展では、担当学芸員の解説つきで「横浜ベイブリッジ・鶴見つばさ橋見学会」、さらに展示の内容についてより理解を深める展示解説を会期中複数回実施します。



海図教室の様子



教育活動ボランティア

旅行会社の団体ツアーでのワンポイント解説や学校団体向けのSDGs学習プログラム実施等に協力し、海・港・船の魅力を学ぶ多彩な機会を提供します。

(4) 収集・保存等事業

ア 収集

博物館では、毎年多数の資料・図書を受け入れています。近年は多くの方から寄贈の申し出を頂くようになりました。収集した新収蔵資料を紹介する新着資料展示を年2回開催し、博物館の資料収集活動を紹介するとともに、資料収集協力の呼びかけを行います。

イ 保存

(ア) 博物館資料を良好な状態で後世へ残すため、毎月の温湿度データの収集とその解析、収蔵庫や書庫の清掃作業等を継続します。その結果に基づき、空気清浄機や除湿器等の適切な運用、資料の保存状況の確認および常設展示資料の展示替えなど環境の適正化に取り組みます。

(イ) 館内収蔵庫・書庫については、水害等自然災害に備えるための対策を継続します。重要資料・図書等については、より高い場所への移動及び落下防止ベルトの取り付けなどを行い、災害に備えます。併せて、収蔵庫内の整理作業を進めます。

(ウ) 横浜市が博物館の浸水対策として設置した、大黒ふ頭の収蔵施設に保管されている資料の管理を横浜市と協力して行います。

(エ) 令和4年(2022年)秋に実施したクラウドファンディング「帆船日本丸の航跡を末永く未来へ 船体維持修繕&無線日誌修復プロジェクト」では、多くのご支援を頂くことができました。令和6年度(2024年度)も引き続き無線日誌3冊の修復を進めます。



館内収蔵庫内
緊急避難資料の表示

(5) その他

特別展示室や博物館ロビー、資料画像の貸出しなどを行い、収入増に努めます。

4 みなとの賑わい創出事業

横浜港の一層の賑わい創出、魅力向上、港らしい風景の形成などを図るため、国指定重要文化財の帆船日本丸を中心とした、都心部における貴重な緑地と水域を最大限活用していきます。

具体的には、市民や来街者への身近な親水空間の提供や海洋性レクリエーション需要に対応した、地区の特性を活かした快適な水辺でのアクティビティを実現するなど、一層の賑わいづくりに取り組みます。

(1) 水辺の事業

静穏な水辺空間である内水域を活用したシーカヤック教室やカヌーポロ教室の開催、多様な水域利用によるマリンスポーツの普及・啓発事業を積極的に展開します。併せて、体験型アウトドアスポーツの魅力をWebサイトやSNSで発信します。

また、帆船日本丸を中心に魅力ある光の演出や水難訓練など防災活動の場としての利用についても促進していきます。

ア シーカヤック教室

初心者向けの「半日スクール&赤レンガミニツアーリング」を110回程度開催し、好評をいただいている「体験教室」は回数を増やし、30回程度開催します。ツアーリング中の写真を記念にプレゼントするなど満足度アップに努め、参加者を増やします。市内の大学との連携教室等も開催します。



シーカヤック体験教室(ツアーリング風景)

イ カヌーポロ教室



帆船日本丸カヌーポロ大会

NPO法人横浜カヌー倶楽部・横浜市カヌー協会と連携し、カヌーポロ教室を子ども向けと大人向けに分けて計14回開催し、青少年育成とマリンスポーツの普及に努めます。

6月には他県の競技団体も参加する第11回帆船日本丸カヌーポロ大会を開催します。

ウ 帆船日本丸のライトアップとイルミネーション

帆船日本丸では、毎夜ライトアップとイルミネーションを点灯し、パーク内を幻想的に演出します。みなとみらいエリアをイルミネーションで飾る「ヨコハマミライト」にも例年参加しています。



ヨコハマミライト

エ その他

地元の警察署や消防署などが定期的の実施している水難訓練や大学による海中ソーラーパネルの実証実験等にパーク内水域を提供します。



海中ソーラーパネル実証実験

(2) パーク利用事業(イベント)

ワークショップやコンサートなど多彩なイベントへの貸出を引き続き積極的に進めます。また、休止していた「フリーマーケット in 日本丸」を段階的に再開します。

大型イベントでは主催者が使いやすいように、アリーナ、訓練センター、プレゼンテーションルームの一体的貸出を進めます。

キッチンカーや飲食を主たる目的としたイベントのほか、アリーナ・プレゼンテーションルーム及び特別展示室などを活用したユニークメニューやレセプションの利用促進に努めます。

横浜市のプロモーション事業やみなとみらい21地区のイベントとの連携を図ります。



アリーナでの「ドラムコープレビュー」イベント風景

(3) ミュージアム ショップ事業

帆船日本丸、横浜みなと博物館、柳原良平アートミュージアム及び横浜港の使命を伝え来館者の思い出や学びをより深める書籍・オリジナルグッズの販売を行います。

当施設へ来られないお客様にも、商品をお買い求めいただけるようにオンラインショップを運営します。



ミュージアム ショップ



5 緑地管理及び研修施設事業

市民や来街者の憩いの場となるよう、緑あふれる緑地を形成し、都心のオアシスとして一層の利用促進を図ります。

また、パーク内にある研修施設（訓練センター）等を最大限に活用し、企業の会議の場として、イベント・撮影等の控室として、一層の利用促進に向けた管理運営に努めます。

(1) 緑地の維持管理・活用

安全で魅力ある緑地施設として維持管理するだけでなく、直接的・間接的な広報・宣伝に寄与する様々な撮影活動などの誘致にも取り組みます。

ア 安全な管理・美化

来場者が安全で快適な公園として利用できるよう、職員をはじめ警備員、中央監視員によるパーク内巡視を行います。高木の枝は定期的に剪定し、強風での落下を防止します。植え込みや芝生の手入れ、草花のプランターの季節ごとの植え替えを行い、景観の維持とともに、憩える広場を提供します。



花の植え替え



ワシントンヤシの剪定



芝生広場

イ 撮影

テレビドラマやCM等の撮影の申込件数は増加傾向にあることから、利用者のニーズに柔軟に対応することで、リピーター及び新規の利用促進を図ります。

夜景など撮影候補地の写真をWebサイトやSNSに掲載し、誘致を促進します。



テレビドラマの撮影風景

(2) 研修施設(訓練センター)等の管理運営

駅からのアクセスも良く、リーズナブルで使いやすいという利点を活かし、リピーターや新規利用者を増やします。

プレゼンテーションルーム及び特別展示室を多用途に貸し出すことで、一層の収入増に繋がります。なお、プレゼンテーションルームは、昨年10月1日から、訓練センター会議室と同様にホームページでの予約、貸出を開始しました。

今後も映画やドラマの撮影の控室、みなどみらいで開催される各種イベントなどに利用できる施設として新たな利用者層の拡大を目指します。



総帆展帆400回記念式典(第1・2会議室)

6 集客増に向けた主な重点取組

マーケット毎に需要創出・誘客・集客増を目指し、チケット・各種プログラム・コンテンツの販売促進のための営業の強化及びブラッシュアップ、新規開発に取り組めます。

また、帆船日本丸・横浜みなと博物館、日本丸メモリアルパークの情報を適切な手段で発信・拡充します。

当施設単体だけでなく、近隣機関や施設及び旅行会社・チケット販売会社をはじめとする各販売先との連携を強化します。

(1) 法人マーケット(教育旅行及び企業・団体等法人)への取組

ア 教育旅行マーケット

- ・JTB横浜支店と共同開発した「みなとの学校 In Yokohama」プログラムの改善・販売拡大
- ・ヨコハマ SDGs デザインセンターと共同開発した「SDGs 学習プログラム (テーマ: 水)」の販売
- ・公益財団法人日本修学旅行協会 (以下: 日修協) 発行の「月刊教育旅行」への広告掲載、公益財団法人横浜観光コンベンションビューロー (以下: YCVB) サイトへの掲出等情報の発信・拡充
- ・教育旅行用プログラムの利用や学校団体誘致促進のため、旅行会社の教育旅行部門への営業推進



SDGs 学習プログラム「テーマ:水」
月刊教育旅行掲載

イ 企業・団体等法人マーケット

- ・(株) JTBコミュニケーションデザインと共同開発した「リーダーシップ体験プログラム」の販売
- ・MICE (アフターコンベンション・ユニークベニューを含む)、企業活動等での施設利用促進のための告知・営業ツール「施設・イベントスペースご利用案内」を活用した営業推進
- ・パシフィコ横浜への施設情報発信の継続
- ・旅行会社の団体用旅行商品への参画と法人営業部門への営業の継続・拡充



リーダーシッププログラム
営業用チラシご利用案内



施設・イベントスペース
ご利用案内ホルダー表紙

(2) 個人マーケットへの取組

ア 情報発信

集客増のベースとなる個人誘客拡大に向け、ターゲット・シーズン・施設イベントに合わせた適切な手段による情報の発信・拡充を継続（「広報宣伝の取組み」参照）

イ 新規コンテンツの販売(令和6年4月開始予定)

「日本丸・博物館周遊型リアル宝探し（謎解き）」の販売を開始。新規需要の拡大や、リピーターの獲得による誘客・集客増（団体誘客含む）に向けた様々な販売促進・情報発信



日本丸・博物館周遊型リアル宝探し

ウ 外国人誘客拡大

E-ticket等の販売先拡大やYCVB等を通じた海外への情報発信及び旅行会社のインバウンド部門への営業推進

エ 旅行会社・チケット販売会社との連携

旅行会社の個人用旅行商品及びチケット販売会社のプランへの参画の継続及び拡充

(3) 広報・宣伝への取組

公式サイト・SNSを含めた無料媒体を活用した情報発信を行い、メディアや媒体各社からの取材や掲載依頼を受けることにより、露出拡大に取り組めます。

観光情報サイト・雑誌等（横浜観光情報・るるぶ・まっぷる・横浜Walker・ぴあ等）への情報掲載のほか、広域・様々な客層に向け、Yahoo!やGoogle等のディスプレイ広告配信を実施し、パークや施設全体の広報・宣伝（当施設のプログラム・プラン含む）拡充に取り組めます。



Yahoo! ディスプレイ広告

(4) 地域連携による賑わいの創出

一般社団法人横浜みなとみらい21（以下「YMM」）、YCVB、パシフィコ横浜、近隣ホテル、観光・商業施設、大学、交通機関と連携・協力を図り、地域情報を収集し当館の情報発信に組み込み回遊性を高める取組みを推進します。

また、当パークや近隣施設は、映画・ドラマ・CM等のロケ地として年間を通して多く利用され露出されています。ロケ地としてのPRや回遊性向上のための誘客促進に向けた情報発信に取り組めます。

7 組織運営の質的向上への取組

全てのお客様に満足していただけるよう、職員はもとより、ボランティアや委託事業者も含めた財団関係者全員の質的向上を図ります。

(1) 風通しの良い職場づくり

日々の朝礼において連絡事項の伝達や情報共有の徹底を図り、業務ミスを防止します。また、管理職会議・職員ミーティング等を定例で実施し、来館者の動向や財務状況の確認、事業進捗状況の報告、課題検討など、財団運営の改善や職員が働き甲斐のある職場づくりを進めます。

(2) 各種研修会の実施・参加

人権啓発研修、コンプライアンス研修、個人情報保護及びセキュリティ研修等を継続して実施することにより人材育成を進めます。

職員一人ひとりが誇りと自覚をもち、“おもてなしの心”でお客様に接することで、公益財団法人としての使命を果たします。

(3) 安全対策の取組

安全衛生委員会で職員の労働安全の取組を進めるとともに、ヒヤリハット事例を共有して来館者の安全確保を図ります。

防災訓練については、自主訓練を実施するほか、みなとみらい21地区合同防災訓練等にも参加するなど安全対策に取り組みます。

(4) アンケート調査(モニタリング)の実施

お客様満足度の向上を目指し、来館者アンケートを実施します。

アンケートの実施にあたっては、QRコードからの回答ができるようにすることで、気軽に答えていただけるようにし、集計作業の効率化も図ります。

8 令和6年度(2024年度)事業一覧表

| (1) 帆船日本丸事業 | |
|--|---|
| 帆船日本丸公開 展示案内 | <ul style="list-style-type: none"> ・次の日を除く毎日公開 月曜日(祝日にあたる時は公開、翌日が休館日) 年末年始(12月29日～1月3日) 年次検査工事期間(1月28日～2月28日) ・ガイドボランティア等による船内ガイドを実施 |
| 総帆展帆 :実施予定回数 12回 ミニ海洋教室 親子展帆/結索: 実施予定回数4回 ロープ作成 :実施予定回数3回 | <p>4月21日(日)、4月28日(日)、5月6日(火・休)、5月26日(日)、6月9日(日)、 9月8日(日)、9月22日(日・祝)、10月6日(日)、10月13日(日)、10月20日(日)、 11月2日(土)、11月10日(日) *展帆ボランティアの協力により実施</p> <p>5月5日(日・祝)、6月1日(土)、6月2日(日・開港記念日)、11月23日(土・祝) *親子での展帆体験と簡単なロープの結び方教室を実施</p> <p>8月9日(金)、8月10日(土)、8月11日(日・祝) *船でロープを作成し、ロープの結び方を学ぶ</p> |
| 満船飾 :実施予定回数 16回 | <p>4月29日(月・祝)、5月3日(金・祝)、5月4日(土・祝)、5月5日(日・祝)、 6月2日(日・開港記念日)、7月15日(月・祝)、8月11日(日・祝)、 9月15日(日・重要文化財指定記念日)、9月16日(月・祝)、9月22日(日・祝)、 10月14日(月・祝)、11月3日(日・祝)、11月23日(土・祝)、1月13日(月・祝)、 1月27日(月・進水記念日)、3月20日(木・祝)</p> |
| 海洋教室 | <ul style="list-style-type: none"> ・半日・1日コース(募集予定人数 200人) ・宿泊コース(募集予定人数 500人) *結索訓練、甲板磨き、登しよう訓練等を実施 |
| 教育普及事業 | <p>【大人向け船の講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月24日(日)「飾り毛布を作ってみよう(仮題)」 日本船伝統のおもてなしである飾り毛布を作る体験を実施 外部の講師と連携し、わかりやすく解説 ・1月26日(日)「国産初の船用ディーゼルエンジンについて学ぼう」 ギネスブックにも掲載された重要文化財「帆船日本丸」の主機について解説、日 頃は入れない機関室で操縦装置に触れる体験を実施 <p>【子供向け船の講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月11日(日・祝) 夏休みの工作「ミニ潜水艇をつくって走らせよう」 水の抵抗についてわかりやすく解説、工作でミニ潜水艇をつくり走らせます。 <p>【夏休み親子宿泊海洋教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月17日(土)・8月18日(日) <p>【出張海洋教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時未定。区民祭等に参加し、ロープワーク等を通して海事思想普及に努めます。 |

(2) 横浜みなと博物館事業

| | |
|-----------------|---|
| <p>常設展示事業</p> | <p>・次の日を除く毎日公開 月曜日(祝日にあたる時は公開、翌日が休館日)、年末年始(12月29日～1月3日) 収蔵庫・書庫燻蒸及び館内整備期間(1月28日～2月4日)</p> |
| <p>展示案内</p> | <p>展示案内ボランティアによる常設展示の説明</p> |
| <p>特別展示事業</p> | <p>【企画展】 ・企画展「横浜ベイブリッジと鶴見つばさ橋 港を支える長大橋」 会期:9月14日(土)～11月10日(日) 【柳原良平アートミュージアム特集展示】 ・「良平の横浜みなと・街歩き」(仮称) 会期:令和6年3月26日(火)～10月14日(月・祝) ・「1984—85 祝 40th 帆船日本丸記念財団設立×帆船日本丸公開 柳原良平の日本丸がいっぱい!展」(仮称) 会期:10月16日(水)～令和7年5月6日(火・休) 【新着資料展示】 新しく収蔵した資料を公開します 会期:4月2日(火)～11月17日(日)、11月19日(火)～令和7年3月30日(日)</p> |
| <p>教育普及事業</p> | <p>教育活動ボランティアの協力を得ながら次の事業を実施 ・博物館クイズラリー(ファミリー向け/年間) ・楽しい船の折り紙教室(こども向け/年間) ・サンデー・ペーパークラフト教室(ファミリー向け/年間) ・ホリデーペーパークラフト教室(ファミリー向け/年間) ・ホリデー船の折り紙教室(ファミリー向け/年間) ・学芸員のワンポイント展示解説(7、9、11、1、3月実施) ・親子の海図教室 8月10日(土) ・船と港の夏休み自由研究 8月15日(木)～18日(日) ・旅行会社造成の団体ツアーでのワンポイント解説や学校団体向けのSDGs学習プログラム実施等</p> |
| <p>収集・保存等事業</p> | <p>・横浜港を中心とした資料調査・収集・研究・整理・保存 ・収集資料及び調査研究の成果を公開及び展示・教育活動に反映 ・収蔵資料のデータベース化推進 ・柳原良平作品の整理公開 ・帆船日本丸附資料の整理公開に向けた計画策定 ・博物館ニュース、企画展に合わせた目録等を出版・発行 ・資料貸出し・レファレンス等実施 ・画像有料貸し出し ・博物館内収蔵庫の環境整備及び災害対策 ・博物館外収蔵施設内資料の管理、横浜市と協力して実施 ・クラウドファンディングのご支援による帆船日本丸無線日誌修復事業等</p> |

| | |
|----------|--|
| ライブラリー事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・横浜港を中心とした図書資料の調査・収集・整理・保存ならびに公開 ・図書資料のデータベース化推進 ・ライブラリー運営・環境整備実施 ・コピーサービス・レファレンス ・博物館内書庫の環境整備及び災害対策実施 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の体験学習の受入れ ・館外での活動や外部団体と連携した事業の実施 ・周辺区の教育事業や団体・企業の研修へ出張講義 ・特別展示室・ロビー等施設貸出 など |

(3) みなとの賑わい創出事業

| | |
|------------------------------|--|
| 水辺の事業 シーカヤック教室 (4月～3月) | <p>【NPO法人横浜シーフレンズと連携した体験教室の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初級者向けコース 「半日スクール&赤レンガミニツアーリング」(110 回程度) 「親子体験教室」親子体験教室(30 回程度) *大学シーカヤック開催協力(神奈川大学、横浜市立大学予定) |
| カヌーポロ教室 (4月～10月) | <p>【NPO法人横浜カヌー倶楽部、横浜市カヌー協会と連携したカヌーポロ教室の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども及び大人向け教室(計 14 回) ・第 11 回帆船日本丸カヌーポロ大会開催(6月予定) |
| 帆船日本丸のライトアップとイルミネーション | <ul style="list-style-type: none"> ・ライトアップとイルミネーションの実施(毎日) |
| パーク利用事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップやコンサートライブ配信など多彩なイベントへの貸出 ・フリーマーケット in 日本丸の再開 ・大規模イベントへアリーナ、訓練センター、プレゼンテーションルーム及び特別展示室の一体的貸出 ・キッチンカーや飲食を主たる目的としたイベントなどの利用促進 ・アリーナや新設のプレゼンテーションルームを活用したユニークバニユーやレセプションの誘致 ・横浜市のプロモーション事業やみなとみらい 21 地区のイベント等との連携 |
| ミュージアムショップ事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・来館者の思い出や学びを深める書籍・オリジナルグッズを販売 ・オンラインショップの運営 |

(4) 緑地管理及び研修施設事業

| | |
|---------------------------------|--|
| <p>緑地の維持管理・活用</p> | <p>【安全管理・美化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パーク内の巡回、警備、施設の点検(毎日)、パーク内一円の清掃作業(毎日) ・1号ドックやシーカヤックパーク内水域の清掃(毎日)、ドック内及び水路の水面の清掃 ・プランターやボックス花壇への花の植替え(4回/年程度) ・花壇造りなどグリーンボランティアとの協働作業(2回/月) ・定期的な樹木の剪定、芝生の刈込、除草(適宜) ・みなとみらい21地区まちかど花壇への協賛 ・桜木町駅前美化清掃活動への参加(毎月) <p>【撮影】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮影時間や会議室・駐車場の貸出など利用者ニーズに沿った柔軟な対応 ・利用促進のため、撮影候補地の場所をWebサイトやSNSで情報発信。 |
| <p>緑地の貸出</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・利用日の6か月前からの予約受付サービスを継続 ・北回廊上部の貸出 |
| <p>研修施設(訓練センター)等の管理運営(貸会議室)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・駅から近い、リーズナブル、使いやすいなどの強みを活かした利用促進 ・利用日の6か月前からの予約受付サービス及びWebサイトによる予約受付の継続 ・プロジェクターなど設備機器類の計画的な更新 ・プレゼンテーションルーム、特別展示室の貸出 |

(5) 集客増に向けた重点取組

| | |
|----------------|---|
| <p>法人マーケット</p> | <p>【教育旅行マーケット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日修協発行の『月刊教育旅行』への広告掲載(毎月) (内容)施設紹介、「みなとの学校 In Yokohama」「SDGs学習プログラム(テーマ:水)」等 ・旅行会社教育旅行部門への営業及び教育旅行プログラムの販売連携 <p>【企業・団体等法人マーケットへ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップ体験プログラム(人材育成研修プログラム)の販売 ・旅行会社法人営業部門への営業 ・JTBの団体用企画商品「JTBならではの」への参画(コンテンツ開発・提供等) <ul style="list-style-type: none"> 「横浜みなと博物館(ワンポイント解説付)・帆船日本丸見学」 「横浜港内めぐり(チャーター船利用)」コース(記念グッズ付) 「宝探し(謎解き)」組込商品 ・旅行会社の団体用企画商品への参画(コンテンツ開発等) ・MICE誘致、企業活動・イベント等での各施設利用促進のための営業推進 <ul style="list-style-type: none"> 「施設・イベントスペースご利用案内」を利用 ・情報発信 <ul style="list-style-type: none"> 「横浜市関係部局、パシフィコ横浜、YVCBへの情報提供」 「旅行会社・PCO(国際等会議運営専門会社)等への情報提供」 ・Webサイトでの告知 |
|----------------|---|

| | |
|---------------------|---|
| <p>個人マーケット</p> | <p>【主な販売先への情報発信・拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・割引提携団体(6団体) 「みなとぶらりチケット(横浜市交通局)、イオンカード、MM 線 1 日乗車券(他社線含む)、ハマふれんど(横浜市勤労者福祉共済)、ベネフィット・ワン、トクトククーポン(東武トップツアーズ)、スカイダック」 ・E-ticket各社(3社) 「(株)アソビュー、(株)楽天、(株)JTB」 ・各旅行会社 <p>【新規コンテンツ販売】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宝探し(謎解き)コンテンツの販売強化(新規) 謎解きキット+共通券の販売(最終販売目標 6,000 セット) <p>【オンライン販売先への営業強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・E-ticket各社(3社) 「(株)アソビュー、(株)楽天、(株)JTB」 ・外国人誘客拡大のための販売チャンネル拡大 ・ぐるっとパス(電子化販売への対応) <p>【オフライン(リアル)販売先への営業強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人用旅行商品プランやチケット販売会社(YOKOHAMA DMC)への参画(コンテンツ開発等) ・販売先各社のネットワークを利用した誘客策の実施 ・回遊性向上のためのチケットプラン・プログラム制作及び販売 近隣ホテル宿泊プランへのチケット組込販売 地域諸施設入場用チケットプラン・プログラムの制作とトライアル実施(新規) 自販及び販売先へのアプローチ |
| <p>広報宣伝・プロモーション</p> | <p>【各メディア】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新聞社、TV・ラジオ局等(無料媒体)への情報発信及び取材対応 <p>【WebサイトとSNS】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WebサイトとSNSによる情報発信の拡充 ・多様なマーケットに合わせた掲載コンテンツの製作 ・他の業種・業態の企業・団体等とのタイアップによる施設情報掲載 ・シーカヤック・撮影・緑地利用の利用促進に向けた情報発信 <p>【ガイドブック・専門誌及び地域誌】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「るるぶ」「まっぷる」等、観光系旅行雑誌等(無料媒体)への情報発信及び取材対応 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・YCVB・YMM・パシフィコ横浜等、地域関係機関・近隣ホテル・施設との連携による広報宣伝 |

(6) 組織運営の質的向上に向けた取組

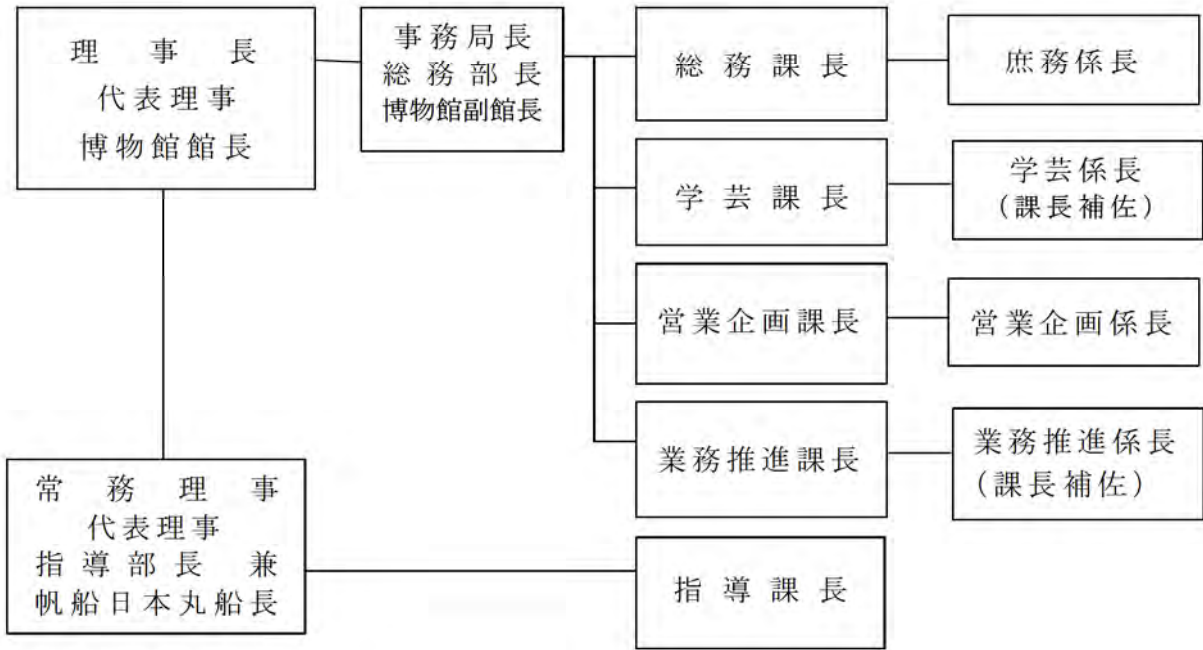
| | |
|--------------------|---|
| 風通しの良い職場づくり | <ul style="list-style-type: none">・日々の朝礼における連絡事項の伝達と情報共有の徹底・管理職会議、職員ミーティング等を定例開催し、財団の運営状況や事業進捗の確認、課題検討等を実施 |
| 各種研修会の実施・参加 | <ul style="list-style-type: none">・雇用形態や職位に関わらず、財団業務に従事する全職員を対象とした人権啓発研修、コンプライアンス研修、個人情報保護研修等の実施 |
| 安全対策の取組 | <ul style="list-style-type: none">・職員及び来館者の安全を確保するための安全衛生委員会を定例開催・財団主催の防災訓練の実施及び近隣施設との合同防災訓練への参加 |
| アンケート調査（モニタリング）の実施 | <ul style="list-style-type: none">・お客様満足度の向上を図るため、来館者アンケートを実施・QRコードの活用による回答数アップ及び集計作業の効率化 |

9 管理執行体制

(1) 職員配置体制表

指定管理者の業務となる「日本丸メモリアルパーク施設」（以下「施設」という。）の管理運営については、次の職員配置体制で業務を執行します。

ア 組織図



イ 職員配置

| 業務内容 | 所管 | | 分担業務 | 所属員 | 備考 |
|----------------|-------|-------|--|-----|---|
| 総務管理業務 | 総務課 | 庶務係 | 庶務、経理、人事・労務、給与、理事会等、市調整、売店 | 4名 | アルバイト4名 配置売店運営 |
| 横浜みなと博物館管理運営業務 | 学芸課 | 学芸係 | 常設展示・特別展示、教育普及、調査・研究・収集・保存・出版活動事業、ライブラリー事業 | 3名 | アルバイト6名 配置ライブラリー、操船シミュレーター運営 |
| 営業業務 | 営業企画課 | 営業企画係 | 広報宣伝の企画実施、Webによる誘客、集客企画、学校・旅行者営業、地域連携・イベント等 | 2名 | アルバイト1名 配置営業、イベント企画、広報 |
| 施設管理業務 | 業務推進課 | 業務推進係 | 入場料徴収、Web管理、情報システム維持管理、緑地、施設維持管理、業務委託、訓練センター運営 | 6名 | アルバイト12名 配置受付業務、券売所シーカヤック教室、訓練センター貸出 |
| 帆船日本丸管理運営業務 | 指導課 | — | 保存、公開、青少年錬成、教育普及事業 | 9名 | アルバイト2名 配置業務全般補助、機関等整備 |
| 合計（役員・兼務を含まず） | | | | 23名 | |

(2) 責任体制

指定管理業務については、次の責任体制で効率的な業務執行を図ります。

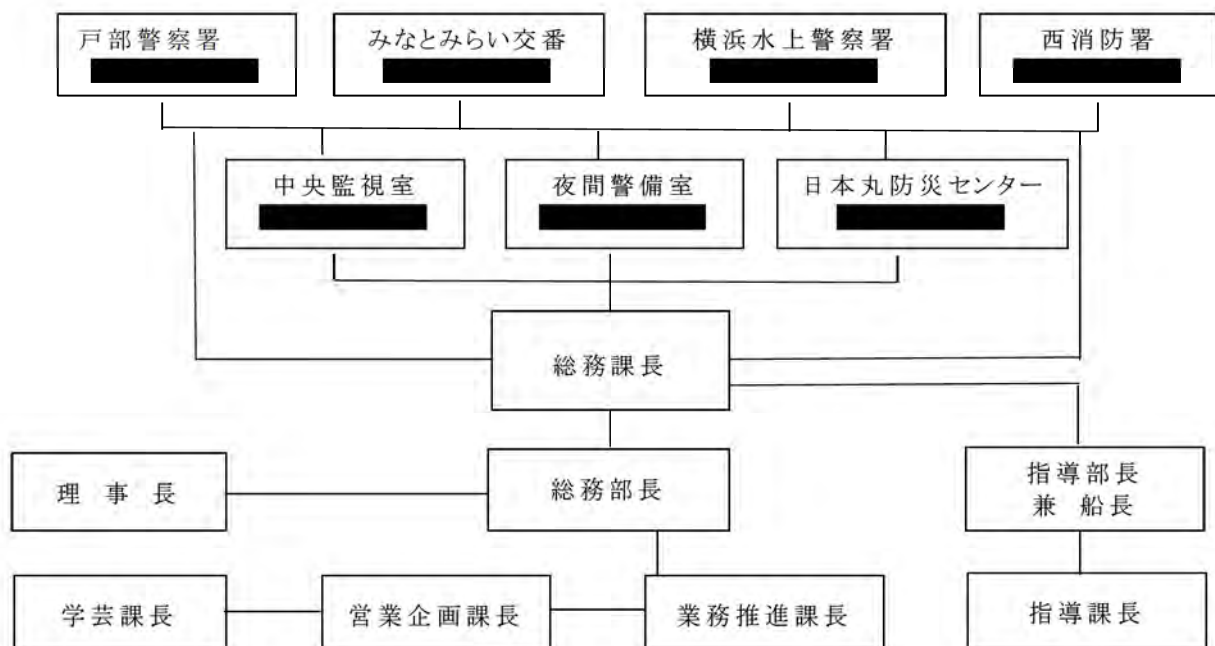
| 課名 | 業務責任者 | 指定管理業務 |
|-------|--------|--|
| 総務課 | 総務課長 | 庶務、経理（契約入札含む）、人事、給与、売店等運営 |
| 学芸課 | 学芸課長 | 横浜みなと博物館事業 常設展示事業、特別展示事業、教育普及事業、調査・研究・収集・出版活動事業、ライブラリー（資料閲覧室）事業 |
| 営業企画課 | 営業企画課長 | 広報宣伝集客誘致の企画実施、Webによる誘客、集客企画、学校・旅行業者営業、地域連携・イベント等 |
| 業務推進課 | 業務推進課長 | 入場料徴収、Web管理、情報システム維持管理、緑地、施設維持管理、業務委託、訓練センター運営 |
| 指導課 | 指導課長 | 帆船日本丸事業 保存事業、公開事業、青少年錬成事業、教育普及事業 |

(3) 防犯・防災対策

施設利用者の安全及び財産保全を第一に、昼夜防犯・防災及び事故防止に努め、不測の事態が発生した場合は、「緊急連絡体制」により、最善の対応を実施します。

防犯・防災・事故防止等の対策として、職員による巡視・点検に加え昼夜委託警備体制での施設の巡回や定位置警備を行うなど利用者の安全を確保します。施設内では火気・施錠等の管理徹底を図り、退所時は「防火等管理簿」の各項目の確認処理を行うなど、確実な取組を進め、日本丸メモリアールパークの良好な管理運営に向けた職員配置を行うなど積極的に取り組んでいきます。

(4) 緊急連絡体制表



10 指定管理業務計画

(1) 年間事業計画表

管理運営に関する基本協定書に基づき、確実に業務を執行するとともに、管理職務調整会議を定例的に開催し、その内容(決定事項等の詳細)を職員に徹底するとともに、広く情報を公開し、年間目標を達成するため着実に業務を遂行します。

| 事業名 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|-------------------|----------------|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|----|---|
| 1 帆船日本丸事業 | | | | | | | | | | | | | |
| 保存事業 | | ← | | | | | | | | | | | → |
| 公開事業 | 公開 (月曜日等休館) | ← | | | | | | | | | → | ↔ | ↔ |
| | 総帆展帆(計12回) | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 2 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 満船飾(計16回) | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 3 | 1 | 2 | 0 | 2 | 0 | 1 |
| 青少年錬成事業(海洋教室の実施) | | ← | | | | | | | | | → | | ↔ |
| 教育普及事業 | | ← | | | | | | | | | → | | ↔ |
| 2 横浜みなと博物館事業 | | | | | | | | | | | | | |
| 常設展示事業 | | ← | | | | | | | | | → | 燻蒸 | ↔ |
| 特別展示事業 | | ← | | | | | | | | | → | 燻蒸 | ↔ |
| 教育普及事業 | | ← | | | | | | | | | → | | ↔ |
| 調査・研究・収集・出版活動事業 | | ← | | | | | | | | | → | | ↔ |
| ライブラリー(資料閲覧室)事業 | | ← | | | | | | | | | → | 燻蒸 | ↔ |
| 3 日本丸メモリアルパーク事業 | | | | | | | | | | | | | |
| 緑地等の維持管理・活用 | | ← | | | | | | | | | | | → |
| 訓練センター(研修施設)の管理運営 | | ← | | | | | | | | | | | → |
| 4 その他 | | | | | | | | | | | | | |
| 集客・プロモーション事業 | | ← | | | | | | | | | | | → |
| 自主事業 | | ← | | | | | | | | | | | → |

(2) 運營業務に関する計画表

| 施設名 | 開館時間 | 休館日 |
|----------|------------|---|
| 緑地 | 終日(24時間) | — |
| 帆船日本丸 | 午前10時～午後5時 | 月曜日(祝日にあたる時は翌日休館) 12月29日～1月3日 船体整備期間(1月28日～2月28日予定) |
| 横浜みなと博物館 | 午前10時～午後5時 | 月曜日(祝日にあたる時は翌日休館) 12月29日～1月3日 燻蒸実施期間(1月28日～1月31日予定) |
| 訓練センター | 午前9時～午後10時 | 12月29日～1月3日 |

(3) 管理業務に関する計画表

| 種 別 | 箇 所 ・ 業 務 名 | 内 容 | 回 数 等 |
|------------------|--|--|---|
| 有資格者の配置 | 帆船日本丸 | 船長及び一等航海士 | 通年 |
| | 横浜みなと博物館 | 学芸員、司書、電気主任技術者 | |
| | | サービス介助士 | |
| 安全管理 | 日本丸メモリアルパーク（緑地） | 警備員による通常警備（監視業務・巡回警備等）、特別警備（左記のうち必要な箇所）、交通誘導（日本丸メモリアルパークの緑地） 防災訓練の実施 職員による巡回点検 | 通年・随時 防災訓練は、年2回（9月・1月） |
| | 帆船日本丸 | | |
| | 横浜みなと博物館 | | |
| | 訓練センター（研修施設） | | |
| | タワー棟 | | |
| 屋外トイレ | | | |
| 設備維持管理 | 中央監視設備 | 有資格業者による管理委託 日常巡視点検 定期点検整備 法定点検整備 | 電気・機械設備等保守点検月1回及び年1回 消防・特別高圧変電設備等法定検査年1回 |
| | 電気設備 | | |
| | 空気調和設備 | | |
| | 給排水衛生設備 | | |
| | 昇降機設備 | | |
| 消防関係設備 | | | |
| 帆船日本丸 船体整備・検査 | | 横浜市からの要請による関係官公庁等と連絡対応、検査・整備の実施 | 年1回 |
| 小破修繕 | 建築物等、帆船日本丸、緑地 電気機械設備等 | 指定管理施設等の修繕が困難な場合は横浜市と協議 | |
| 設備関係の測定及び記録 | 運転・作業日誌、日常巡視点検記録、定期点検・測定記録、業務連絡簿は3年間保存 事故障害記録、補修・改良工事記録は5年間保存 設備機器・工具計測台帳、設備図書は永年保存 | | |
| 清掃 | 日本丸メモリアルパーク全体 | | |
| 植栽管理 | 日本丸メモリアルパーク（緑地） | | |

(4) 提案事業に関する計画表

| 事業名 | 内容 | 実施回数 |
|------------------------|---|-------|
| 帆船日本丸 ミニ海洋教室親子展帆/結索 | 帆船を身近に感じていただくため、親子対象の参加型小規模展帆を実施。 | 4回 |
| ホリデー教室 | リピーター拡大策として、ファミリーを対象にしたペーパークラフト教室及び船の折り紙教室を実施。教育活動ボランティアによる事業の一つ。 | 50回程度 |
| シーカヤック教室 カヌーポロ教室 | 水域の利活用による賑わいづくりを目指し、NPO法人や横浜市カヌー協会と連携し教室を開催 | 154回 |
| ミュージアム ショップ | 帆船日本丸、横浜みなと博物館、柳原良平アートミュージアムに関連したお土産や記念品の販売 | 開館時 |

(5) 外部委託予定表

原則として次の業務を指名競争入札により委託します。

| 種別 | 名称 | 発注時期 |
|--------|--|----------|
| 設備運転業務 | 電灯・動力、受電、自家発電、直流電源、通信・情報、外灯、防犯、配電、消防設備 | 令和6年4月契約 |
| 清掃業務 | 日本丸メモリアルパーク(緑地・屋外トイレ)、帆船日本丸、横浜みなと博物館、訓練センター、タワー棟 | 令和6年4月契約 |
| 警備業務 | 日本丸メモリアルパーク(緑地)、帆船日本丸、横浜みなと博物館、訓練センター、タワー棟、屋外トイレ | 令和6年4月契約 |

(6) 要望対応方針・事務フロー

お客様からの要望は、直接的な要望とアンケート調査等による要望があります。

ア 窓口等の直接的な要望

担当者が即時対応し、完了後、所属課長より総務課長及び役員に報告します。

イ アンケート調査等の要望

日々の施設利用者としての「利用者アンケート」の意見や要望内容を集約し、朝礼や会議で確認し、通常業務へ反映させます。

帆船日本丸及び横浜みなと博物館の全体的なアンケート調査を年1回実施し、管理職調整会議や職員ミーティングなどで内容を分析のうえ、業務につなげます。

また、必要に応じて横浜市の関係機関と協議を行います。

(7) 研修計画表

| 研 修 項 目 | 研 修 内 容 | 実施回数・時期 |
|------------|-----------------|---------------|
| 個人情報保護研修 | 重要性と管理及び利用方法 | 年1回・2月 |
| 人権啓発研修 | 人権意識の醸成・事例研究 | 年1回・2月 |
| 防災訓練 | 情報伝達・避難誘導・消火訓練等 | 年2回・9月・1月 |
| ボランティア研修 | 展示関係研修・教育関係研修 | 年6回・4月・10月・2月 |
| コンプライアンス研修 | 事務処理ミス対応研修 | 年1回・3月 |

11 指定管理業務に係る当該年度の収支計画表

(1) 収入

(単位:千円)

| 科 目 | 予 算 額 | 備 考 |
|---------|---------|--------------------------|
| 指定管理料 | 310,806 | |
| 利用料金収入 | 101,925 | 観覧料収入、海洋教室等収入、その他事業収入 |
| 自主事業収入 | 23,550 | 提案事業収入 |
| 売店事業収入 | 14,300 | |
| その他の収入 | 7,329 | 助成・協賛金収入、寄付金収入、基本財産運用収入等 |
| 収 入 合 計 | 457,910 | |

(2) 支出

(単位:千円)

| 科 目 | 予 算 額 | 備 考 |
|-------------------|---------|----------------------------------|
| 指定管理施設 運営事業費支出 | 382,271 | 帆船日本丸事業費支出、横浜みなと博物館事業費支出、緑地事業費支出 |
| 指定管理者 管理費支出 | 53,490 | 指定管理者施設管理費支出 |
| 自主事業費支出 | 7,122 | 提案事業費支出 |
| 売店事業支出 | 15,027 | |
| 支 出 合 計 | 457,910 | |

| | | |
|--------|---|--|
| 当期収支差額 | 0 | |
|--------|---|--|

12 年間の指定管理業務の範囲外の収支計画表

(1) 収入

(単位:千円)

| 科 目 | 予 算 額 | 備 考 |
|----------|----------|-----|
| 特定資産運用収入 | 2,000 | |
| 雑収入 | 0 | |
| 特定資産取崩収入 | 0 | |
| 収入合計 | 2,000 | |

(2) 支出

(単位:千円)

| 科 目 | 予算額 | 備 考 |
|---------|-------|-----|
| 財団管理費支出 | 6,163 | |
| 支出合計 | 6,163 | |

| | | |
|--------|--------|--|
| 当期収支差額 | △4,163 | |
|--------|--------|--|